

愛知医科大学病院

病院長名	天野 哲也
所在地	〒480-1195 愛知県長久手市岩作雁又1番地1
交通案内	地下鉄東山線藤が丘駅下車 病院行き名鉄バスで約20分 東名高速名古屋ICから車で約15分

□ 病院の特徴

当院は1974年に開院した大学病院です。特定機能病院や高度救命救急センターなどに指定され、充実した設備と最新の診療体制を整え、尾張東部の中核医療施設として地域医療に幅広く貢献しています。

「生活時間の最大活用」「医療の可視化」「地域との協力」をコンセプトに、高度専門医療機能の強化と地域救急医療の充実に重点を置いた最先端の医療環境を整備し、数多くの最新医療機器を導入し、医療従事者も効率的に働ける病院を目指しています。

□ 研修プログラムの特徴

プログラム名：愛知医科大学病院 精神科研修プログラム

【研修目標】

あらゆる種類の精神科疾患を一通りまずは体験し、自立して診療ができるようになることを最低限の目標とする。その上で、可能な限り専攻医の皆様が興味を持つ技能や知識を自分のペースで吸収できる場を提供したいと考えております。

【研修期間】 3年

【研修スケジュール】

典型的には1年目に基幹病院である愛知医科大学病院をローテーションし、精神科医としての基本的な知識を身につける。2～3年目は愛知医科大学病院のほか、総合病院精神科、単科精神科病院、認知症疾患医療センターより研修先を選択し、身体合併症治療、難治・急性期症例、児童症例、認知症症例、てんかん症例を幅広く経験し、精神療法、薬物療法を主体とする治療手技、生物学的検査・心理検査などの検査手法、精神保健福祉法や社会資源についての知識と技術を深めていく。これら3年間のローテーション順及び期間については、本人の希望に応じて柔軟な対応を検討する。なお、到達目標は以下の通りである。

1年目：基幹病院または連携病院で、指導医と一緒に統合失調症、気分障害、器質性精神障害の患者等を受け持ち、面接の仕方、診断と治療計画、薬物療法及び精神療法の基本を学び、リエゾン・精神医学を経験する。とくに面接によって情報を抽出し診断に結びつけるとともに、良好な治療関係を構築し維持することを学ぶ。院内研究会や学会で発表・討論する。

2年目：基幹病院または連携病院で、指導医の指導を受けつつ、面接の仕方を深め、診断と治療計画の能力を充実させ、薬物療法、精神療法の基本的考え方と技法を学ぶ。精神科救急に従事して対応の仕方を学ぶ。院内研究会や学会で発表・討論する。

3年目：基幹病院または連携病院で、指導医から自立して診療できるようにする。心理社会的療法、精神科リハビリテーション・地域精神医療等を学ぶ。外部の学会・研究会などで積極的に症例発表する。



□ 主な連携施設

三重大学、豊田厚生病院、一ノ草病院、犬山病院、上林記念病院、京ヶ峰岡田病院、紘仁病院、衣ヶ原病院、七宝病院、仁大病院、杉田病院、聖十字病院、総合心療センターひなが、豊田西病院、のぞみの丘ホスピタル、松蔭病院、まつかげシニアホスピタル、熊野病院、三河病院、岡崎医療刑務所、笠寺精治療病院など

□ メッセージ

指導医（講師 深津 孝英）

現在精神神経科がかかわる範囲は限りなく広がっています。うつ病や統合失調症だけでなく、てんかんや認知症など脳疾患としての精神科疾患の評価と医学的治療も行っています。職場や学校の不適応への心理的サポート、社会資源を利用した生活指導まで多岐にわたって行っています。あらゆる種類の精神科疾患を一通りまずは体験した上で、可能な限り専攻医の皆様が興味を持つ技能や知識を自分のペースで吸収できる場を提供したいと考えております。なお、子育ての中の女性に関しては、状況に応じて当直免除、当直回数の減免などを行っていますのでご相談ください。



□ 募集要項

・採用予定人数	20人（3年間で）
・給与／月額	月額：436,644円（免許取得後3年目医師の平均、R6年度実績より算出、別途賞与支給あり） ※勤務状況により実際の支給とは異なる場合があります。
・当直回数／月	3～4回
・当直料／回	（救急外来）宿直手当 約39,000円 （病棟）宿直手当 20,000円
・その他	通勤手当、住宅手当、扶養手当、賞与（年2回）、社会保険等（日本私立学校振興・共済事業団（健保・年金））、健康診断 ※診療科から外勤の斡旋があります。
・応募連絡先	担当者 深津 孝英 電話番号 0561-62-3311 Eメール taka1108@aichi-med-u.ac.jp